

“いま”を知る。“これから”を考える。

な
か
や
ま

議会だより

P17

企画展

議会だよりミュージアムへようこそ

P8

議員が町政を問う 一般質問

P2

特集 町へ政策提言書を提出



文化財でアート体験！ みんなで芋煮に変身！
⇒今号の表紙P18

政策提言3

町の課題解決に向けた 国・県等事業を活用した財源確保について

- (1) 国・県等の財源を有効活用した施策立案ができるように、職員育成を推進すること。また、情報収集や申請手続き等の支援に外部人材を活用し、職員負担を軽減する仕組みを構築すること。
- (2) 財源確保の取り組みは、町の中長期的なビジョンに基づく戦略の中での位置付けが重要。町民との対話を通じて課題を把握し、積極的な解決に向けた事業を展開すること。
- (3) 国・県等の事業を活用した取り組みは、一過性の効果に終わらせるのではなく、事業終了後も継続的に運営できる体制を構築すること。



国の財源確保のための議員研修

政策提言4

多様な学びと活動の場の整備について

- (1) 子どもたちが安心して学び、成長できる環境を学校以外にも確保することが重要である。ICTを活用した学習支援や、地域資源を活かした体験型の活動など、多様な選択肢を提供し、学びの機会を途切れさせない環境づくりを進めること。
- (2) 子どもたちが心理的に安心して過ごせる多機能な居場所を地域に整備し、学び・交流・相談の拠点とすることが求められている。地域住民やボランティアの協力を得ながら、地域全体で子どもを支える持続可能な仕組みを構築すること。



学習室以外にも多機能な居場所を

政策提言5

鳥獣被害防止対策について

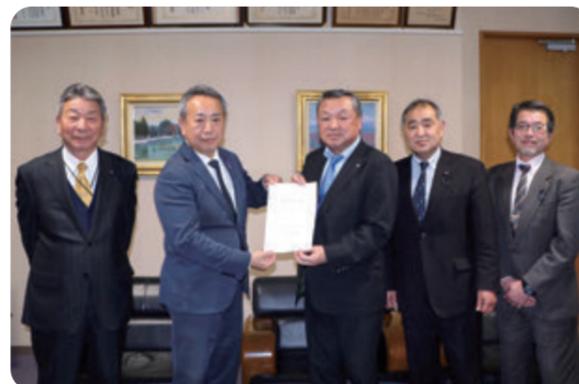
- (1) 鳥獣被害対策実施隊に対する待遇改善および捕獲報酬等の改善を図ること。また、緊急銃猟に対応できる狩猟者育成・確保などの環境を整備し、安全で効率的な捕獲体制を整えること。
- (2) 危険鳥獣の出没情報などを住民にリアルタイムで伝える体制を構築するため、情報の集約と発信を一元化し、地域全体で危機管理を強化すること。
- (3) 町で所有する箱わな等の資材を充実し、支援体制の強化を図ること。また、ドローン活用などの先進事例等について研究や検討を早急に進めること。
- (4) 国・県等と連携し、河川周辺に危険鳥獣を寄せ付けない環境整備を行うこと。また、鳥獣の生息域拡大を防ぐため、里山の適切な管理や耕作放棄地の再生など、総合的な環境整備を行うこと。



現在、町で保有する箱わなは7基▶

特集

議会から町へ政策提言



このたび、議会では持続可能なまちづくりを実現するために重要な政策について、政策提言書として町長へ提出しました。

昨年実施した町民アンケートにおいても、議会の政策提案力の強化に力をいれてほしいといった声が出ており、今後も町民の声を町に届ける取り組みを続けていきます。

提出された政策提言書はこちらから▶



政策提言1

水害対策の着実な推進について

- (1) 令和7年3月に策定された石子沢川流域水害対策計画を踏まえ、具体的推進策を早期にまとめられるよう、国・県等との連携や支援の強化について強く働きかけること。
- (2) 公共施設再配置計画基本構想には防災拠点機能および雨水貯留機能等を持つ新たな施設整備の考え方が盛り込まれる予定であるが、流域水害対策は土地利用にも影響を及ぼすことから、土地利用の基本構想についても明確にすること。



さらに進めたい水害対策

政策提言2

消防団活動体制の充実について

- (1) 消防団の役割や地域防災に果たす重要性を町民に広く伝え、団員自身が活動の意義を再認識できる環境を整えること。
- (2) 地域や学校教育との連携を図り、子どもたちが消防団と関わりを持ち「地域はみんなで守る」という意識を共有できるような取り組みを推進し、将来的な団員確保や地域防災力の持続的な強化につなげていくこと。
- (3) 消防団員の安全装備の充実、活動服や資機材の更新、活動中の補償の充実等により、団員が安心して活動できる環境を整えること。
- (4) 災害対応力を高めるために、定期的な研修や訓練を充実させることが不可欠であり、特に新入団員や女性団員に配慮した研修プログラムを整備し、誰もが安心して参加できる体制を構築すること。
- (5) デジタル技術を活用した情報共有や出動連絡の効率化、機能別消防団の導入検討、国・県等事業の活用など、長期的な視点で体制の強化を図ること。



幼いうちから消防団との関わりの機会を(春の演習)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



中山町議会議長
鎌上 徹

町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。昨年は、全国各地で地震や豪雨、台風などの自然災害が相次ぎ、甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

また、夏場には記録的な高温と少雨による農作物への影響が広がりました。農業を営む皆さまのご苦労は計り知れず、気候変動への対応は避けて通れません。今後も安定した農業経営を支える仕組みや持続可能な農業のあり方を議論していくことが求められています。

日々の暮らしにおいても、物価高騰が続き、町民の皆さまの暮らしに大きな負担を与えています。食料品や燃料、日用品の価格上昇は家計を直撃し、地域経済にも影響を及ぼしています。こうした状況に対応するため、生活支援策の充実や地域産業への支援などの取り組みを検討していく必要があります。

当町議会は、これら山積する課題の解決に向けて、町執行部と互いに知恵を出し合い、町の発展のため議論を重ねてまいります。また、議会の活性化を進め、より身近で開かれた議会運営を目指して活動を行い、皆さまの負託に応えられるよう誠心誠意努めてまいります。

結びに、町民の皆さまにおかれましては、本年が健やかで幸多い一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会が開催されました

12月定例会が、12月3日から5日までの会期で開催されました。

提出された議案は、一般会計・特別会計・下水道事業会計補正予算、条例の制定・設定、指定管理者の指定、協定の締結についての計16件で、すべて原案のとおり可決されました。(議案一覧はP5)

令和7年 中山町議会12月定例会日程表

期日	会議	備考
12月3日(水)	本会議 (全員協議会) (議会活性化特別委員会) (総務文教常任委員会) (厚生産業常任委員会)	一般質問 (報告) (付託案件調査) (所管事務調査) (所管事務調査)
12月4日(木)	休会	議案調査
12月5日(金)	本会議 (全員協議会) (治山・治水特別委員会)	議第49号~64号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決 選挙(山形広域環境事務組合議会議員) 議会活性化特別委員会中間報告 (報告) (付託案件調査)

その議案に私は賛成、私は反対

12月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 欠席 退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議
		村山隆	須貝勝司	田宮昌幸	多田慎二	斎藤眞一	鈴木徹雄	渡辺博文	佐東幸治	渡邊史	鎌上徹
議第49号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ1394万9000円増額し、総額を62億2553万3000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
50号	令和7年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ3228万1000円増額し、総額を12億873万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
51号	令和7年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ188万4000円増額し、総額を2億879万8000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
52号	令和7年度中山町介護保険特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ101万5000円増額し、総額を14億3599万8000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
53号	中山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について 個人番号の独自利用を行う事務や庁内での連携を行うために必要な改正を行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
54号	中山町議会議員及び中山町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について 公職選挙法施行令の一部改正に伴い、中山町議会議員及び中山町長の選挙における立候補者の選挙運動用ビラ及びポスターの1枚あたりの作成単価をそれぞれ引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
55号	一般職の職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例の設定について 国家公務員等の旅費制度の改正を踏まえ、職員等に対して支給する旅費等の基準について見直しを行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
56号	中山町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について 令和8年4月から「こども誰でも通園制度」を開始するにあたり、受入施設の設備や運営についての基準を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
57号	中山町町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の指定管理者の指定について 指定団体：株式会社中山町振興公社 指定期間：令和8年4月1日～令和11年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
58号	最上川中部水道企業団職員に係る児童手当の給付に要する経費の負担に関する協定の締結について 最上川中部水道企業団職員に係る児童手当の給付に必要な費用の負担について協定を締結するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
59号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第5号)について 歳入歳出予算それぞれ4426万7000円増額し、総額を62億6980万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
60号	令和7年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ111万8000円増額し、総額を12億984万9000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
61号	令和7年度中山町介護保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ150万8000円増額し、総額を14億3750万6000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
62号	令和7年度中山町下水道事業会計補正予算(第2号)について 公共下水道事業収益および公共下水道事業費用をそれぞれ72万6000円増額する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
63号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 一般職の職員の給料月額等の改定を行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
64号	特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 議会の議員および町長等に対して支給する期末手当の支給割合を改定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

*注：議長は採決に加わりません。

令和7年度一般会計補正予算(第4号)

12月定例会で、4回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ1394万9000円を増額し、総額で62億2553万3000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

デジタル創作体験型ワークショップを開催

増額 35万4000円

町内外の交流促進と町民デジタルリテラシー[※]向上を目指す「なかやまタウンスクエア」の一環として、新規に子どもを対象としたデジタル創作体験型ワークショップを開催するためのものです。

[※]デジタルリテラシー…パソコンやスマートフォン等を操作する技術だけでなく、インターネット上の情報を正しく理解したり、それらを使って自ら表現・創造したりする力のこと。



第1回目はプログラミングで、まるばつクイズをつくりました

中山町観光協会を支援 →左ページに質疑掲載 増額 175万8000円

「元祖“全国”芋煮会in中山2025」の中止により、協賛金等の収入が減少し、今後の観光協会事業費が不足することから補助金を増額するものです。

消防団 高視認性活動服の購入を見送り

減額 632万5000円

消防団の高視認性活動服の更新の予算について、財源として活用を予定していた国の消防団設備整備費補助金に採択されなかったことから、次年度以降に購入を見送ることとするため減額するものです。



団員の安全のため、より視認性の高い活動服の早期導入を

質疑

問 要望を踏まえて予算を付けたのに国の補助金がないから見送るのか。消防団との調整は。

答 全団員の活動服の更新には多額の費用がかかるため、有利な補助事業を活用し、充実した装備の整備を図ることで、消防団とも調整している。

質疑

元祖全国芋煮会 事前の準備は十分だったのか

本会議での質疑内容を一部抜粋しています。

雨天対応、リスク管理は

問 元祖全国芋煮会は、町観光協会と町の主催となっている。町はどのように関わっていたのか。

答 町は補助金交付を通じて事業費を支援し、観光協会と協議しながら準備を進めてきた。また、観光協会事務局である産業振興課が企画段階から関わり、予算の執行状況や準備内容の調整を行ってきた。

協賛金の取扱いは

問 中止になった場合、協賛金の取扱いに

ついて事前協議は行っていたのか。

答 中止になり来年度以降の関係性を考慮して、今回は受け取らないこととした。

来年度に向けた対応は

問 来年度に向けて、雨天時対応や広報体制などをどのように改善するのか。

答 来年度は興行中止保険への加入のほか、雨天時の開催場所の事前確保にあたり、必要な調整や予算確保について町が支援していきたい。また、観光協会と協議して降水量や排水状況を基準とした中止判断手順を策定し、関係者との連絡調整や一般への広報が円滑に

観光協会の適切な運営は

行えるようイベントの実行体制を強化する。さらに事前に中止基準や代替対応を町民や出店者に明示し、リスク管理を徹底したい。

問 観光協会の事務局が、補助金の交付元である産業振興課内にある。チェック体制は適切なのか。

答 協会内に監査役がいる。また、財政援助団体として町の監査も受けている。

問 産業振興課と観光協会の関係性について、整理が必要ではないのか。

答 協会内に実行委員会を設置することを検討しており、来年度に向け今年度から取り組んでいく。

請願と陳情(要望) 12月定例会に陳情2件、要望書5件が提出されました。

陳情

- 公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情
- 安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につながる報酬10%以上の引き上げを求める意見書の提出に関する陳情書

要望

- 令和8年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い
- 地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望
- 令和7年度建設振興策に関する要望
- 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い
- 難病等対策並びに患者支援に関する要望書

[※]陳情(要望)については、議員への配付のみとしています。



議会の録画配信をしています

パソコンやスマートフォンからご覧いただけます。

中山町議会 録画配信 検索



過去の議会だよりをご覧いただけます



町公式HPから



SideBooksアプリから

一般質問

ここが聞きたい！

町政を問う

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いただすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

4人の議員が一般質問

12月定例会では、4人の議員が一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

佐東 幸治 議員 (9ページ)

- きれいな中山町の環境づくりを
- 部活動の地域展開に起業人制度の導入を

寿田 慎二 議員 (10ページ)

- 「おらだのまち補助金」事業収入を次の活動に残せないのか
- 町の資機材を住民へ貸し出せないのか

渡邊 史 議員 (11ページ)

- AIオンデマンド交通で持続可能な地域交通の実現を

村山 隆 議員 (12ページ)

- クマ対策は万全か
- 英語教育の充実を



佐東 幸治 議員

きれいな中山町の環境づくりを

町長 ごみのないきれいな町にしたい

問 環境美化に関わることは、当町の観光・有害鳥獣・空き家対策、そして毎日の生活に大変重要であるため、次の質問を行う。

「安全で歩きやすいまちづくり」や観光の面から、町の美化は非常に重要である。そのため、町有地や町道の環境美化を、現在より積極的に進める考えはあるのか。



常日頃からの整備を求めたい町有地 (写真はなかやま保育園西側)

町長 町道の除草については、現状の年2回を継続しつつ、雑草の繁茂状況に応じて適宜対応していく。また、「きれいな川で住みよいふるさと運動」も、町民から積極的に参加していただけるよう周知していく。今後も現在の政策を徹底していきたいと考えている。

問 中山間地・河川・住宅地まで荒れてきており、有害鳥獣(クマ、イノシシなど)の危険性が高まっている。荒地の整備を行うボランティア団体や地域活動に対し、これまで以上の補助を行う考えはあるのか。

町長 中山間地の荒地整備に対する補助事業として、国・県および町が協調して行う「中山間地域等直接支払制度」がある。荒地整備には、地域の方々の協力が不可欠であり、補助事業の新設も含め、環境美化活動への有効な支援のあり方を研究・実行していく。

問 空き家等対策で、最終的に行政代執行や略式代執行を行うことを考えると、特定空家等を増やさないと必要である。今後の考えは。

町長 県では、地域住民や市町村と連携して空き家対策に取り組む人材を、「山形県空き家等対策エリアマネージャー」として8団体認定している。そのうち、当町のワンストップ相談支援業務を受託している業者も認定されている。

部活動の地域展開に

起業人制度の導入を

町 「地域おこし協力隊制度」を利用したい

問 指導者の担い手育成のため、地域活性化起業人制度の導入を提案する。

町長 地域活性化起業人制度の活用については、今後の動向を注視しながら調査・研究を行う。

教育長 当時としては

「地域おこし協力隊制度」を利用し、指導者育成に取り組むたいと考えている。

私の思い

町有地の環境美化をもっと進めて、他の市町村に誇れる中山町にしてほしい。



町長 町田 慎二 議員

「おらだのまち補助金」事業収入を次の活動に残せないのか

町長 収入の減額免除は困難と考える

問 過去の「やってみたい活動支援補助金」では、補助期間終了後に事業がなくなってしまうケースがあった。

町長 「持続可能な地域活動」を実現するために、補助金を単なるイベント支援で終わらせず、「自立に向けた投資」や、より大きな事業へステップアップできる制度へ転換する必要があるのではないかと。そこで、以下の2点について見解を伺う。①事業の自立化を促すため、事業収入を翌年度以降の活動資金として積み立てる場合に限り、収入を補助金から減額しない要綱改正を検討すべきではないか。②実績があり公益性の高い事業については、「町認定事業」として別に予算化するなど、安定的な継続を支援する仕組みや規模を大きく

くできるような仕組みを導入すべきではないか。

町長 ①補助金は、やる気のある団体が、創意と工夫をこらして実施する独自の取り組みに対し、町がその事業費を補助することで「応援」し、町の活性化と協働によるまちづくりのさらなる推進を目指すことを目的としている。事業実施により補助金以外の収入が発生する場合は、不足する部分を補助することから、収入を補助金から減額しないことは、社会通念上からも困難であると考えている。②「おらだのまち補助金」は、より多くの町民からより良い企画・提案をいただく機会を確保するため、単年度の補助事業として毎年度募集を行い、新規・

継続を問わず審査し、交付決定の判断をしている。特定の事業の安定した継続支援を直接的な目的とはしていない。

町の資機材を住民へ貸し出せないのか

町 来年度の貸し出しに向け検討している

問 町は、防災や施設管理のために資機材を保有している。これら

を住民団体へ積極的に貸し出すことにより、地域活動の活性化や、町民が操作に習熟する「実践的な防災訓練」の機会となるのではないか。町が保有する資機材を地域向上のため

に住民や団体へ貸し出す考えはないのか。

町長 住民の方々が多様な場面で防災資機材に触れる機会を創出することは、有意義な取り組みと考えられる。資機材ごとの特性等を踏まえ、貸し出し可能な資機材の選定を進め



備蓄資機材の有効活用貸し出しを検討中

るとともに、必要な例規（ルール）の整備に向け検討している。

問 検討しているというのだが、期的にはいつ頃になるのか。

総務広報課長 来年度を目指している。

私の思い

第6次総合発展計画で掲げている「人と人とのつながる協働によるまちづくり」に向け、補助金や町有資産をうまく活用して、より住民が活動しやすい仕組みをつくってほしい。



町長 渡邊 史 議員

AIオンデマンド交通で持続可能な地域交通の実現を

町長 課題が多い

問 現行のタクシー助成(500円定額)は、高齢者支援として評価できるが、町外の事業者に頼る構造的課題と財政負担、サービス継続困難のリスクを抱えている。地域主体で運行するAIオンデマンド交通「なかやまオンデマンド」(仮称)への転換を提案したい。外部依存を克服し、持続可能なサービスを提供するため、運営主体の確立、補助金活用、協力事業者との積極的な共存戦略を構築すべきではないか。時代の変化に受動的になるのではなく、「協

力すれば良いことがある」という積極的な姿勢を示すことが、関係性構築につながるのではないか。

町長 高齢者が安定して生活できる公共交通の確立は大きな課題である。令和7年度もタクシー助成制度の試行実施を今年で行っており、来年度の本格実施に向け検討中である。AIオンデマンド交通への転換には、スキーム(仕組み)、協力体制、財源などさまざまな課題があり、個別具体的な回答は難しい。しかし、将来的にこつした体制を築くことは大切である。今後、他自治体の先行事例を研究し、利用実績を分析しながら、より良い公共交通のあり方を考えていきたい。

※AIオンデマンド交通とは、AIが最適なルートと車を決めるため、待ち時間が減り、車を効率よく運行できる交通サービス。



効率的で交通弱者に寄り添った制度を望む

問 コンパクトシティを目指す施設再配置計画において、町民の最大の懸念は交通の利便性低下である。「先にAIオンデマンド交通で不安を解決するビジョンを示すことは、合意形成をスムーズにする強力な材料になるのではないか。交通の未来像を、計画に先行して、合理的かつ持続可能な形で決定すべきではないか。

町長 今年度は第6次総合発展計画の中間点であり、施設再配置計画も進んでいる。AIオンデマンドタクシーが先ではない。コンパクトシティという全体的なまちの構想をしっかりと考えた上で交通網を考えていくべきだろう。

町長 子どもたちを守る環境整備と住民の足を確保するシステムを考えていかなければいけない。欧米ではスクールバスは一般的であり、子どもの安全の保障の問題も考えた上で、みんなの事業として考えていく仕組みや体制が必要である。

私の思い

1つのAIオンデマンドシステムで、交通弱者支援と通学安全確保という2つの課題を効率的に解決するものである。課題が多いと先送りするのはなく、国の補助金を活用してでも解決する強い姿勢こそが、いま町に求められていると考える。最優先で取り組む施策として位置づけてほしい。

議会はどんなことをしているの？ 議会活動報告

議会ダイアリー

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

●10月（前号掲載以降）

- 27日 県町村議会議員研修会【議員】
⇒関連記事 P 16
- 31日 ㈱アクティオとの災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定締結式【議長】

●11月

- 2日 芸文祭開幕式合同発表会【議員】
- 4日～5日 市町村議会議員特別セミナー（千葉市市町村アカデミー）【議員2名】
- 6日～7日 山形広域環境事務組合議会議員視察研修【派遣議員】 ⇒関連記事 P 17
- 7日 中山中学校創立60周年記念式典【議員】
- 11日 柏倉家住宅保存・利活用特別委員会【委員、議長】 ⇒関連記事 P 15
- 議員懇談会【議員】
- 総務文教常任委員会【委員】
- 厚生産業常任委員会【委員】
- 12日～13日 第69回町村議会議長全国大会（豪雪大会含む）・町村議会議長行財政セミナー【議長】
- 14日 山辺町議会との正副議長・事務局長打ち合わせ【正副議長】
- 村山地方町村議会議長会 正副議長・事務局長会議【正副議長】
- 15日 県女子駅伝競走大会天童東村山チーム激励会【議長】
- 16日 県女子駅伝競走大会天童東村山チーム報告会【議長】
- 18日 全員協議会【議員】
- 議会活性化特別委員会第1・第2小委員会【委員、議長】
- 20日 議会運営委員会【委員、正副議長】

- 27日 総務文教常任委員会【委員、議長】
- 28日 事業報告会【議員】
- 議会活性化特別委員会【委員、議長】 ⇒関連記事 P 14
- 11月中 議会広報常任委員会（計2回）【委員】

●12月

- 3日～5日 町議会12月定例会【議員】
⇒関連記事 P 4～12
- 3日 全員協議会【議員】
- 議会活性化特別委員会【委員、議長】 ⇒関連記事 P 14
- 総務文教常任委員会【委員】
- 厚生産業常任委員会【委員】
- 5日 全員協議会【議員】
- 治山・治水特別委員会【委員、議長】
- 12日 山辺町・中山町両町議会議員協議会【議員】 ⇒関連記事 P 15
- 15日 全員協議会【議員】
- 18日 最上川中部水道企業団議会臨時会【派遣議員】 ⇒関連記事 P 16
- 19日 村山地方町村議会議長会 議員合同研修会【議員】 ⇒関連記事 P 16
- 12月中 議会広報常任委員会（計3回）【委員】

●1月（一部）

- 5日 新春を祝う会【議員】
- 11日 町消防出初式【議員】
- 16日 村山地方町村会・議長会 合同会議【議長】
- 1月中 議会広報常任委員会（1回）【委員】

クマ対策は万全か



むらやま たかし 村山 隆 議員

町長 対応マニュアルを作成中

問 11月6日、町内でクマ出現との情報が流れた。そこで次の3点について伺う。①クマ出現時の町民への伝達方法はどのようなものか。②対応マニュアルはあるのか。③町内猟友会の現状はどのようなか。

町長 ①クマ目撃の情報が入った場合、担当の産業振興課から各課へ連絡、各課において対応を実施し、関連団体にも情報共有を行う。また、町民への周知については、防災行政無線、インフォカナル、公式LINEなどで広報を行っている。

②現在、町の「対応マニュアル」を策定中である。現在は山形県が策定した「クマが市街地に出没した際の対応指針」等を参考に、フローチャートを作成し、これに沿って対応

している。

③当町における猟友会の構成員は14名で、いずれも狩猟免許を保有している。今後は「緊急銃猟」に対応できる者を育成する施策として、クマ捕獲時の報償金を新設する。

問 教育現場における、登下校時の対応についてはどうなのか。

教育長 教育委員会として対応マニュアルはできている。今回もそのマニュアルに沿って、いち早く保護者へメールを配信し、下校時の送迎、引き渡し等を実施した。

英語教育の充実を

問 小学校、中学校における英語教育の現状について、A・L・Tを導

入して数年が経過したが、その現状はどうなっているのか。

私の思い 全国・県内においても、クマ被害が続出している。当町における各課ごとの対応指針はできているようだが、町全体の「マニュアル」はまだできていない。対応が遅すぎるといわざるを得ない。町民の安心・安全を第一に考え、早急な対応を求めたい。



教育長 令和6年度から小・中学校の英語教育については、山形大学の佐藤教授をスーパーバイザーとして招いて指導・助言をいただいている。内容は、①授業における単元づくり②学習過程で大切にすること③コミュニケーション能力の向上について等である。今後も継続的に指導をいただき、教職員の授業力向上につなげていく。

A・L・Tについては、小学校、中学校それぞれ1名の計2名を配置。各学級で週1・2回程度、授業のサポートを行っている。

小学校の授業では、A・L・Tが英語での会話をされており、児童が「生」の英語を耳にする機会が増えたことで英語の語彙が増えている。中学校では、発音

やスピーチにおけるサポートのほか、英語圏の文化を学ぶという学習も行っている。A・L・Tの配置により、学力が向上しているという顕著な変化はみられないが、児童、生徒が英語に慣れ親しみ、関わることでできるような人的な環境を整え、英語教育を充実させていく。

私の思い 「教育」を英語に訳すとエデュケーションとなる。「educate」の本来の意味は「引き出す」ということ。英語に普段から接することで、英語に親しみ、楽しく、興味を持って学習できる環境を、これからも作ってきたいですね。

次回の定例会は **3月4日(水)～13日(金)** の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

旧柏倉家住宅、冬のライトアップに向けて補正予算

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告（委員長：多田慎二）

11月11日、柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催され、旧柏倉家住宅の雪化粧を見てもらうため、庭園のライトアップを計画している旨の報告がありました。また、実施にかかる委託料28万6000円は補正予算として要求する予定であると説明がありました。

委託料	照明オペレーター（設営業務）2名 スポットライト（LED 約20基） 照明スタンド一式 等	28万6000円
-----	---	----------

実施日は令和8年2月28日（土）・3月1日（日）の2日間で、午後4時から7時までの3時間を予定しているとのこと。委員からは実施時期が遅いのではないかという意見があり、担当からは雪の量を踏まえて時期を設定したと説明がありました。また、当日の職員等配置や事前周知の工夫について委員から意見が出されました。



庭園のライトアップに挑戦（冬の公開事業）

石子沢川流域治水と広域防災連携の強化に向けて

山辺町・中山町両町議会議員協議会報告

12月12日、中山町防災センターにおいて、山辺町と中山町による両町議会議員協議会が開催されました。特定都市河川に指定された石子沢川流域の治水対策、各町の地勢や災害要因を踏まえた防災の取り組みについて、報告・共有が行われました。

●石子沢川流域治水対策の進捗

令和7年3月策定の対策計画に基づき、令和2年7月豪雨相当の水量を最上川へ流さない「流域治水」の実現を目指しています。田んぼダムの推進や雨水貯留浸透施設の整備を含む中



排水機場にて国土交通省職員より説明を聞く

山町の公共施設再配置計画の策定、最上川緊急治水プロジェクトによる河道掘削などが進められています。

●各町の防災取り組みと共通課題

両町が令和7年3月27日に締結した「災害時における相互応援に関する協定」や、各町の実践的な取り組みとして、町民の土のう作り体験、スターリンク（衛星通信インターネットサービス）の導入、切れ目のない防災教育などが紹介されました。一方で、自主防災組織の組織率向上や、個別避難計画策定における継続性の確保が両町共通の課題として共有されました。

●現地視察と今後の展望

協議会后、治水の中核を担う石子沢川排水機場や垂直避難拠点施設および水防拠点施設などを視察し、中山町の防災機能を確認しました。今後は、来年度からの両町の連携の仕組みを具体化し、好事例を共有しながら流域全体の地域防災力向上が期待されます。

議会活性化特別委員会が中間報告 定数・報酬で結論

議会活性化特別委員会報告（委員長：須貝勝司）

議会活性化活動レポート① 町長へ報酬審議会の開催を要望

11月28日の会議では、第1・第2小委員会からそれぞれ検討結果の報告を受け、協議を行いました。

第2小委員会からは「議員定数」について報告がありました。変化する社会情勢への即応や、行財政運営のチェック機能を維持し政策形成に寄与するためには、「現行の定数（10人）を維持すべき」との結論を委員会として確認しました。

第1小委員会からは、「議員報酬に関する要望書」について報告がありました。平成8年から据え置きが続いている現状を踏まえ、なり手不足の解消や人材確保の観点から、報酬引き上げに向けた環境整備が必要として、町長に対し、「中山町議員報酬及び特別職給料審議会」への諮問を求める要望書を提出することを決定し、その内容を協議しました。

12月5日の本会議終了後に、議長・副議長・議会活性化特別委員長が町長に対し、要望書を手渡しました。要望の主な内容は以下のとおりです。

- ・次の中山町議会議員一般選挙に向け、中山町議員報酬及び特別職給料審議会において、議員報酬の見直しを諮問すること。
- ・任期開始日の1年前である令和8年10月1日には見直しを反映した条例改正が可能となるよう答申の期限を設け諮問すること。
- ・議会費の総額ありきの安易な考えから、議員報酬を増額する代わりに議員定数の削減を条件にすることのないようにすること。
- ・今後においては、議員の役割と職責にふさわしい適正な議員報酬のあり方について、少なくとも議員任期（4年間）毎に審議会へ諮問すること。

議会活性化活動レポート② 活動経過と検討結果を中間報告

12月3日の会議では、これまでの活動を集約した「中間報告書」の取りまとめを行いました。

本委員会は令和6年6月の設置以来、特別委員会を11回、各小委員会を12回開催し、議会の活性化や議会議員のなり手不足対策に関する調査を行ってきました。先進地の行政視察や「町民アンケート」を実施し、住民の皆さまから貴重なご意見をいただきました。

これらの調査を経て、議員定数や報酬に関する一定の結論が出たほか、常任委員会における町内各種団体等との意見交換会の実施や政策提言書の提出などが決まりました。これらを報告書として取りまとめ、12月5日の本会議において、議長に対し中間報告を行いました。

今後も議会活性化に向け、引き続き調査・検討および実践を進めていきます。

12月5日の本会議での中間報告の主な内容は以下のとおりです。

【確認事項】

- ①議員定数：現在の議員定数（10人）を維持するものとする。
- ②議員報酬：報酬引き上げに向けた環境を整えるため、町長に審議会への諮問を求める要望書を提出するよう、議長に要請するものとする。

【対応・検討事項】

- ①議会活動に関する町民アンケート結果：把握した課題、その解決策の検討および実践については、今後検証しながら継続して対応するものとする。
- ②議会傍聴規則の見直し：傍聴しやすい、時代に即した規定となるよう見直しを検討している。

各施設で火災報告アリ！

山形広域環境事務組合議会報告

11月6日から7日にかけて、山形広域環境事務組合議会の行政視察が行われました。

●視察先① 中之島信条クリーンセンター
(新潟県長岡市)

令和6年4月に操業を始めたが、同月19日に施設で火災が発生。今年7月1日に操業を再開するまで1年3か月、復旧費用は12億円を要した。リチウムイオン電池が原因と考えられている。

●視察先② エコパークむらかみ
(新潟県村上市)

平成27年4月に操業、ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設を一体化して建てられた。この施設においても、年間15件ほど発火事件が発生している。

対策 リチウムイオン電池による全国のごみ処理施設の発火事件は年間1万件を超えており、各自治体も対応に苦慮している現状があります。しかし、発火事案が減少している自治体もあり、新潟市の場合、令和元年度に129件発生した年をピークに、令和5年度は63件に減少しています。その要因は、リチウムイオン電池を内蔵した電化製品を「特定5品目」に指定し回収したことが大きいとしています。長岡市でも分別回収を強化し、ごみ集積所への看板設置、市役所や一部商業施設、また各地区公民館などにも回収所を開設しているとの説明・報告がありました。

国による施策・法整備は別として、今後、山形広域環境事務組合においても、分別回収や、それに向けた**住民への啓もう活動**に注力すべきであると考えます。

災害対応から議員の責務まで、議会のあり方を問う

町村議会議員研修会報告

●山形県町村議会議員研修会(10月27日)

山形国際交流プラザ(ビッグウイング)において、2人の講師より議会のあるべき姿を学びました。

1.「災害時の議会・議員の役割」

(講師：中央学院大学教授 福嶋浩彦氏)
「平時の対応がしっかりしていれば、災害時も頼りになる」とし、日常的な議会機能の強化とBCP(業務継続計画)策定の重要性が説かれました。議会は単なる監視機関ではなく、多様な意見を集約し「議会として」意思決定を行う主体的な役割が求められます。

2.「議会改革・活性化のための議員活動」

(講師：東京大学大学院教授 金井利之氏)
議員のなり手不足や政治不信の背景にある構造的課題について解説がありました。改革の本質として「議会・議員が自らの政策を持つことが大前提である」との指針が示されました。

●村山地方町村議長会議員合同研修会(12月19日)

山辺町中央公民館において、元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏より「議員の責務と一般質問のあり方」の講話をいただきました。

二元代表制下で議会が「チーム」として切磋琢磨する重要性や、特別職の公務員としての高い倫理観を再確認しました。個人の疑問を組織的な政策提案へつなげる重要性についても知見を深めました。

研修を終えて

一連の研修を通じ、災害対策から議会制度の根幹、議員の倫理に至るまで、活動の原点を見つめ直す機会となりました。学んだ知見を日々の活動に活かし、住民に信頼される議会づくりに邁進してまいります。

発見がいっぱい！議会だよりミュージアムへようこそ

なかやま&県内町村 議会広報大集合！

町議会の活動や広報の歴史を楽しく知る特別企画です。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください！

会期 令和8年2月1日(日)～22日(日)

展示名	内容
なかやま議会だより展 (創刊号から全号公開！)	平成29年創刊号から最新号まで、議会だよりのバックナンバーを一挙展示。当町議会広報の歴史と、議会のあゆみを振り返ることができます。
県内町村議会だより 企画展	山形県内各町村が発行している個性豊かな「議会だより」が大集合。他町村の広報の工夫や、活発な議会活動の様子をご覧ください。

開催情報

会場：中山町立図書館ほんわ館 エントランスギャラリー
開館時間：午前10時～午後7時
休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
主催・問合せ先：中山町議会広報常任委員会(議会事務局)
TEL：023-662-4370



議会だより企画展の会場です(2月1日から)

令和6年度 事業会計利益の処分及び決算の認定

最上川中部水道企業団議会報告

10月17日、令和7年第3回最上川中部水道企業団議定例会が開催されました。

定例会では、構成市町の議会の議員構成変更に伴い、武田啓一郎議員(山辺町)が議長を辞職したことにより議長選挙が行われ、議長に神保稔議員(山辺町)が選任されました。

続いて、令和6年度 事業会計利益の処分及び決算の認定(詳細は右表のとおり)ほか3件の議案について審議され、原案のとおり可決および認定されました。

令和6年度 事業会計利益の処分及び決算

水道事業収益	6億5526万6000円
水道事業費用	5億5408万3000円
当年度純利益	1億118万3000円
資本的収入	2373万7000円
資本的支出	1億6797万6000円
不足額	1億4423万9000円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

12月18日、臨時会が開催され、提出された2件の議案について内容の説明、質疑、討論、採決が行われ、両議案ともに原案のとおり可決されました。(詳細は下記のとおり)

議第12号 令和7年度最上川中部水道企業団事業会計補正予算(第2号)について

(水道事業収益 223万1000円減額、水道事業費用(職員給与費等) 911万2000円増額など)

議第13号 最上川中部水道企業団水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

(第10条にただし書きを加え、「指定給水装置工事事業者」を「…事業者等」に改める。)



八坂神社例大祭で天狗を務めていました
(出典：『広報なかやま』平成25年5月号)

応援で選手を鼓舞する

サッカーとお祭りが大好きな 町の応援団長。

No.27

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内外で活躍する元気な「ひと」にインタビュー。第27回は、モンテディオ山形私設応援団に所属する秋葉大河さんです。

まち・ひとインタビュー

なかやま
大好き!

モンテディオ山形の私設応援団では、どんな活動をしていますか？
秋葉さん 試合の応援では、楽器を使い、サポーターの声とともに選手の後押しをします。私は「バスドラム」という大太鼓を使い、応援の一助とコールリーダーを支える役割をしています。リーダーとともに中心に立つてみながら一緒に応援をつくっていくというのが好きで自分から志願しました。モンテの試合は昨年44試合ありました。そのうち32試合の応援に行きました。

サッカーが好きなんですね。
秋葉さん 小学校3年生からFC中山でサッカーを始め、中学校、高校と続けて大学2年頃までプレーしていました。モンテの試合は中学生のときに初めて観に行きました。試合のために人が集まる「文化」をそこで知り、のめり込みました。そこから今の私があるのだと思います。

お祭りも好きなのですか？
秋葉さん 今は山形市に住んでいますが、柳町地区出身なので、地区の「若者組」に入っています。4月に行われる八坂神社の例大祭では、若者組から「天狗」を務める慣習になっています。19歳のときに初めて天狗をさせていただき、それ以降計5回務めました。モンテの試合と重なったときは「お祭り」が優先ですね。やはり地元の伝統的な文化が大好きです。

中山町についてどのように感じていますか？
秋葉さん 中山町が大好きなので、戻ってきたいと思つています。同級生でも最近中山町に帰ってくる人が多く、また地区でも若い人が家を建てて引っ越してきています。若者組も近年は数名増えました。住みやすく子育てしやすい町だと思います。

広報モニターの声



「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声を紹介します。「広報モニター」は随時募集中です。ご興味のある方はお問い合わせください。

第35号から



- 表紙についてスッキリした配色で、大変良いと思います。写真もインパクトがあり、いい表情が映し出されています。「米飯給食の無償化始まる」の表題をもう少し強調すれば、表紙とマッチすると思います。
- 監査委員から毎回指摘がありますが、その後の対応に関し何も掲載されていません。何故なのでしょう。町民として具体的な改善策を知りたいものです。

議会としては監査委員の指摘事項が改善しているか、今後もチェックしていきます。いただいたご意見は町へも共有させていただきました。

- 一般質問の写真や図表がコンパクトになって、すっきりとして読みやすくなりました。文字の色もやわらかくなって、うるさくないところがいい。
- 「楽しい仲間たち」では、高校生が町内で活躍してくれるのを、うれしく思います。
- 議会だよりの中で小さくても良いので、小中高生が書いた記事があっても、おもしろいかなと思いました。
- 「まち・ひとインタビュー」はいつも楽しみにしています。町出身者も転居してきた方も、中山町に興味がある方のご縁を大事にしたいと思わせてくれます。

議会広報文章アドバイザーを募集します

議会広報文章アドバイザーってどんなことをするの？

議会だよりは年4回発行していますが、それぞれ発行前に原稿の確認をお願いし、誤字脱字、文章表現、わかりやすさなどさまざまな視点から意見をいただきます。アドバイザーから指摘のあった内容については、すべて議会広報常任委員会で話し合い、より読みやすい紙面づくりに役立っています。任期は1年です。

アドバイザーの方の顔写真やお名前を紙面で紹介することはありません。ご興味のある方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については、検討させていただきます。

ご意見、要望等ありましたら、電話やFAX、二次元コードからお気軽にお寄せください。

連絡先

TEL: 023-662-4370
FAX: 023-662-2538



ご意見投稿はこちらから▶

2市2町

山形市・上市市・山辺町・中山町

イベント情報

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

※イベントは予告なく変更になる場合があります。

楢下宿雪の提灯回廊2026

①2月7日(土)・8日(日) 17:30~20:00
④上市市観光物産協会 Tel.023-672-0839

上市市民俗行事 加勢鳥

①2月11日(水・祝) 10:00~15:00頃
④上市市観光物産協会 Tel.023-672-0839

まんだらの里 雪の芸術祭

①2月7日(土)
④作谷沢振興会 Tel.023-687-1918

ひな人形展

①3月1日(日)~29日(日)
④ふるさと資料館 Tel.023-664-5033

2026柏倉九左衛門家ひなまつり

- ①3月20日(金・祝)~22日(日)
- ②重要文化財 旧柏倉家住宅 ほか
- ④実行委員会事務局 Tel.023-662-2175

霞城観桜会、馬見ヶ崎さくらラインライトアップ

- ①4月上旬~中旬(桜の開花状況による)
- ④山形市観光戦略課誘客推進係 Tel.023-641-1212(内線424)

今号の表紙：文化財でアート体験！ みんなで芋煮に変身！

12月13日、東北芸術工科大学の学生7名による展覧会が町指定文化財「旧柏倉惣右衛門家住宅」を会場に行われました。

学生が岡地区で行った取材をもとにした、芋煮になりきる体験や部屋の使われ方を想像するワークショップでは、子どもたちの笑顔があふれていました。

また、旧柏倉家住宅から着想を得た行燈(あんどん)が展示された廊下は、惣右衛門家ならではの雰囲気と相まって幻想的な空間になっていました。



柏倉家の意匠を切り絵で表現した行燈

プロフィール



あきばたいが
秋葉大河さん(36歳)
中山町柳町地区出身

モンテディオ山形私設応援団「ウルトラスクミー」の副代表兼事務局。試合会場の一番前で太鼓をたたいて応援をリードしている。また、地元である柳町の若者組に入り、八坂神社の例大祭や地区の行事に関わっている。

か。ぜひ町ぐるみで一緒に創りたいです。

また、今モンテには土居聖真選手が在籍しています。彼は長崎小学校出身なので、土居選手の「中山町応援団」を作って、町民応援隊には会場で横断幕を掲げてみんなで応援したいですね。

お祭りについては、伝統を引き継ぎながら、もっと人が集まるような仕掛けなどを行い、町全体が盛り上がるようにしたいです。私は、そんな「町の応援団長」を務めていきたいと思っています。

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

楽しい仲間たち

明るい 豊かなまちづくりを目指して

No.10

連載シリーズ「楽しい仲間たち」は、町内で活躍・活動しているさまざまなサークル、ボランティア団体を紹介しています。

中山町役場卓球部

私たち、中山町役場卓球部は、令和5年度に活動を開始しました。現在、選手兼監督のほか4名の部員の、合わせて5名で活動しています。業務の状況によりますが、基本的には週に1回、業務終了後に集まって3時間程度の練習をしています。練習の内容は、ラリー練習などの基礎的なものが多いですが、少しずつ技術を高め合いながら、練習に励んでいます。

また、練習だけでなく、さまざまな大会に出場しています。今年度は、京都市で開催された「全日本実業団卓球選手権大会」に出場しました。結果は2試合中2敗という結果に終わりましたが、私たちと同じように、実業団として日々練習に励んでいる全国区選手のプレーに間近で触れることができ、貴重な経験となりました。



令和6年 全日本実業団卓球選手権大会にて（埼玉県）

“楽しくプレーする”をモットーに、部署や役職、年齢や経験にとらわれないメンバー構成となっています。そのような関係性から築いたチームワークや、練習で培った忍耐力と集中力を、今後の業務にも活かしていきたいと考えています。

部員は中山町役場職員のみとなりますが、練習相手になってくださる方やチームは随時募集していますので、ぜひ、お声がけください。



令和7年 最上地区団体対抗卓球大会にて（新庄市）

中山町役場卓球部

代 表：佐藤慎悦^{さとうしんえつ}（選手兼監督）
部 員：5名
問合せ先：中山町役場



なかやま
議会だより
No.36

発行日：令和8年2月1日
発行：中山町議会
発行責任者：議長 鎌上 徹

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538
E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

議会広報常任委員会
委員長 多田 二
副委員長 渡邊 慎
委員 村山 史
委員 佐田 幸
委員 東宮 隆
委員 幸治 幸

12月定例会では、議会活性化特別委員会の中間報告をしました。そして町議会から「政策提言書」を町長に提出しました。これはゴールではなく、議会がより身近で、より機能的な存在へと生まれ変わるための「新たなスタート」です。こうした取り組みをわかりやすくお伝えし続けることが議会だよりの重要な役割だと考えています。これからも皆さまの信頼に応えられる読みやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

(夢田慎二)

編集後記